

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けに取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	介護経験や介護に対する考え価値観など、職員によって違いがある。個人に合わせた指導、育成が必要と考える。また、職員の離職率が高く定着率が低い。	法人独自の介護の基準書を作成し、入職時に配布している。基準書を基に指導方法や内容にズレがないよう統一ケアを目指している。指導者は介護のやりがいや楽しみ、喜びを伝え導いていくよう努める。	入職時に8日間の研修を設け、代表者も講師として法人の理念を語る。基準書を基にeラーニングで全職員が研修を受ける仕組みを作り、知識と技術の向上を図る。職員面談等で、働きやすい職場、働きたい職場作りを一緒に考え人間関係の構築に努める。	12ヶ月
2	26	朝礼やカンファレンス、ミーティングなどご利用者の情報を共有するようにしているが、一部の職員から「聞いてなかった」「知らなかった」など情報共有ができていない事がある。口頭での報告が多い。	「報・連・相」の重要性を理解できるよう、毎日の朝礼やカンファレンスなどで説明や確認をしていく。申し送りノート等確認時はサインをする。サインがない職員には、ノートを確認したか聞き取りを行なう。	業務は1人でするのでなく、チームケアで行うため、個々の情報共有が重要である事を理解出来るようにする。また、ビジネスマナー等に参加し、理解を深めるよう努める。	6ヶ月
3	3	コロナの影響で運営推進会議開催を控えていた為、地域包括支援センターや地域住民の方や民生委員の方に事業所の情報をお伝えする事や地域の方との関わりの機会が持てなかった。	10月から、パワーアップ体操を再開する。12月には家族会や認知症カフェ、朝市を予定する。コロナ感染の状況を見ながら、運営推進会議を開催していく。地域住民と交流する機会に参加し、地域に根付いた施設を目指す。	コロナ禍前から取り組んでいた、認知症カフェやパワーアップ体操、朝市を開催し、地域住民の方と関わりを積極的に繋いでいくように努める。運営推進会議で報告する内容を書面で地域包括支援センター、自治会長や民生委員の方に報告し、地域との交流を図る。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。